

平成30年 7月24日
四国地方整備局

平成30年7月豪雨関連 フェリーによる輸送状況について

- 平成30年7月豪雨による被災後のフェリーの輸送状況についてお知らせします。
- 西日本の高速道路や鉄道の通行止めにより、愛媛と中国を結ぶフェリーによる輸送が最大で13割（7月7日）、九州と四国を結ぶフェリーによる輸送が最大で6割増加（7月14日）しています。
- 食料品などを運ぶトラックのほか、被災地支援のための緊急車両や給水車、支援物資を運ぶトラックの輸送にも利用されています。

1. 四国と九州・中国・近畿を結ぶフェリーの輸送台数 別添のとおり

輸送台数※

愛媛～中国航路 最大で平成29年平均と比較して約13割増（平成30年7月7日）

四国～九州航路 最大で平成29年平均と比較して約6割増（平成30年7月14日）

※輸送台数はフェリー会社へのヒアリングによる。

（調査期間：平成30年7月3日～平成30年7月18日）

参考：四国のフェリー・RORO船の就航状況

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/general/image/policy/ferryroro/pamphlet.pdf>

問い合わせ先：

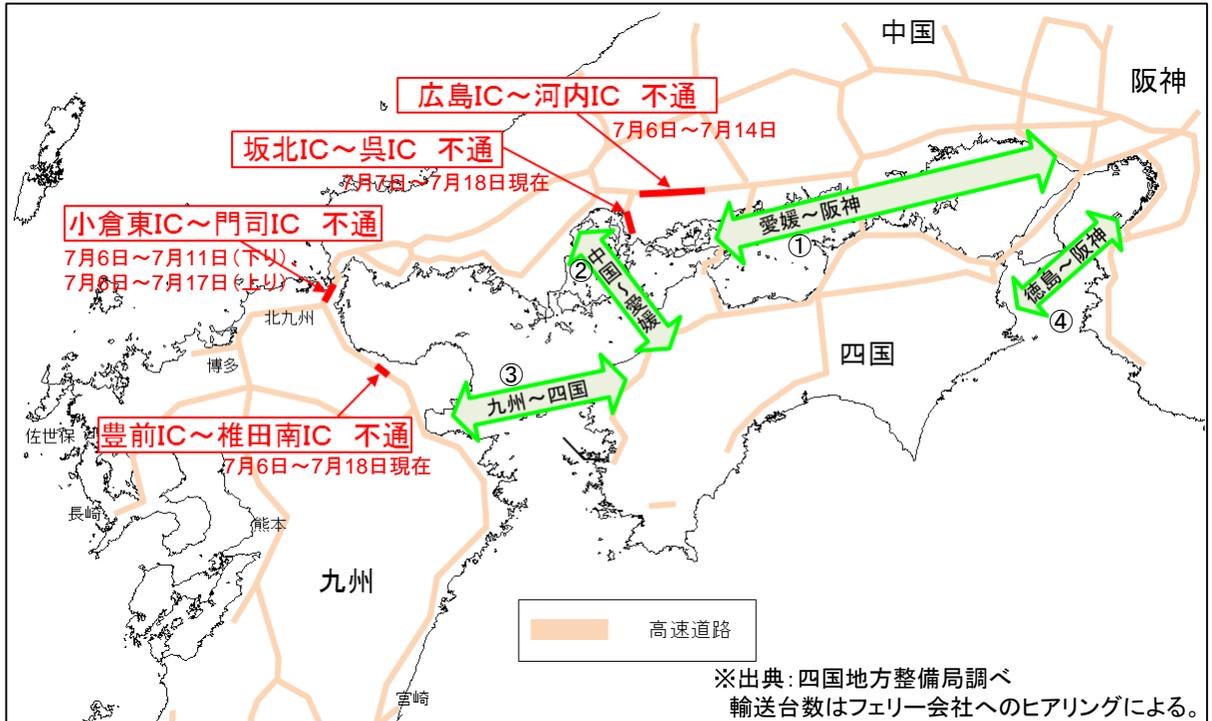
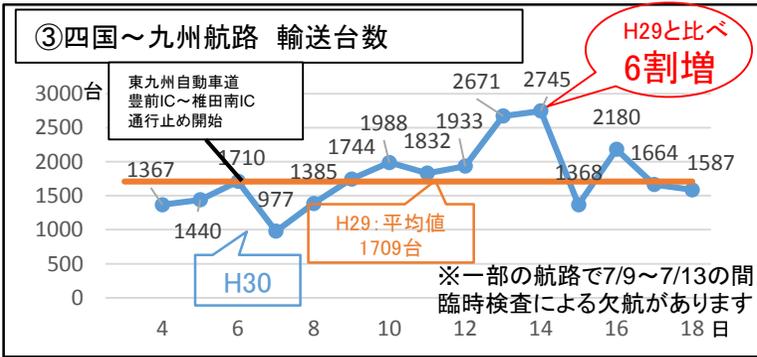
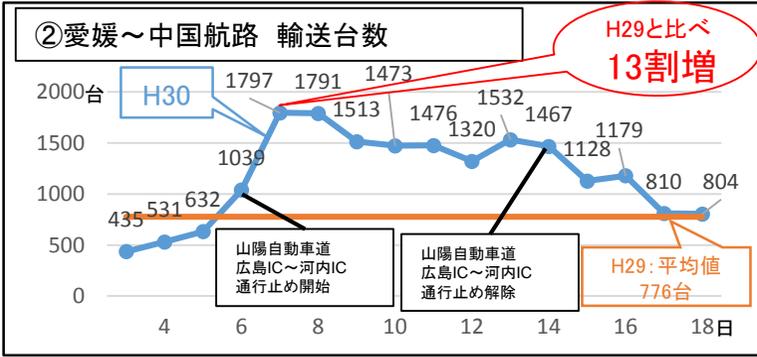
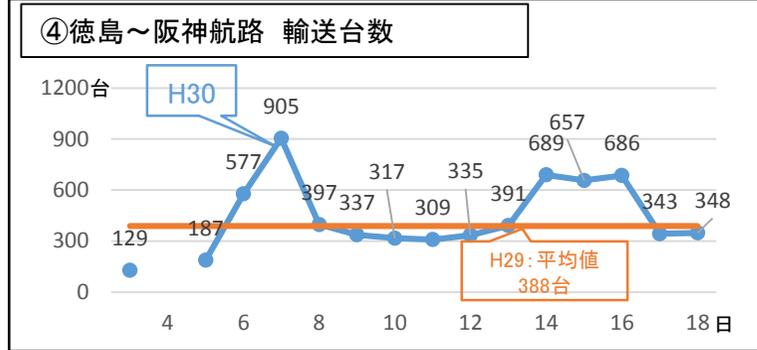
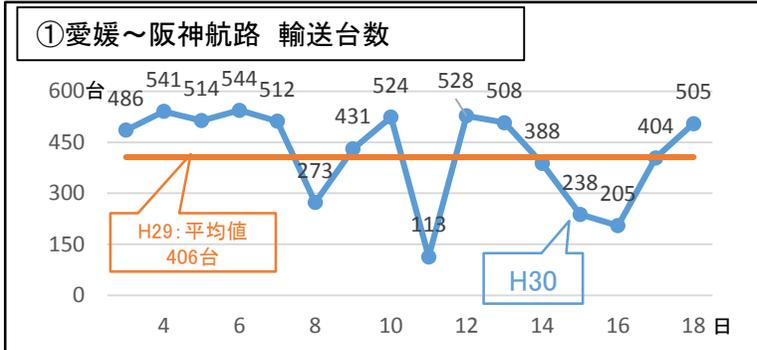
国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部

クルーズ振興・港湾物流企画室 室長 野本 啓介

電話 087-811-8360（直通）

平成30年7月豪雨関連 フェリーによる輸送状況について

○平成30年7月豪雨による被災後のフェリーの輸送状況についてお知らせします。
 ○西日本の高速道路や鉄道の通行止めにより、愛媛と中国を結ぶフェリーによる輸送が最大で13割(7月7日)、九州と四国を結ぶフェリーによる輸送が最大で6割増加(7月14日)しています。



○食料品などを運ぶトラックのほか、被災地支援のための緊急車両や給水車、支援物資を運ぶトラックの輸送にも利用されています。



平成30年7月11日撮影



平成30年7月13日撮影

被災地支援に向けた支援車両の海上輸送(別府港・臼杵港→八幡浜港)